

園児交流会の様子が新聞に掲載されました

平成25年7月11日版の新三河タイムスに松平こども園との園児交流会の様子が掲載されました。

(第3種郵便物認可)

新三河タイムス

園児と川遊び

松平高おんぶや肩車に笑顔

豊田市鶴ヶ瀬町の松平高校(阿知和聖二校長、生徒584人)の生徒約90人が2日、地元を流れる太田川(大内町)で松平こども園(田中弘美園長、園児110人)の5歳児約40人と交流を図った。同校は10年前から園児を招いたり、出向いたりして交流を続けてきたが、昨年度から小川での交流を実施。保育希望者とサッカー部・バスケ部員が参加した。生徒らは園児の荷物を持ち世話をしながら下流から上流へ歩いた。園児の手をしっかりと握り「こっちへ行くの」「大丈夫」などと声をかけ、岩を登る時は抱きあげたり、安全を守りながら交流した。帰り道は、水遊びで疲れた園児らをおんぶや肩車をしながら園までの約2キロの道のりを歩いた。初めて参加した3年の服部のぞみさんは「川は石が多かったが、園児が危なくないよう気をつけて歩いた」。2度目の参加の同稲垣亜美さんは「深そうなところはまず自分が確かめてから一緒に歩いた」と話した。稲垣さんが手をひいていた井手麗葉ちゃん(5)は「仲良くなれた。楽しかった」と笑顔で答え、引



園児の手を引き川歩きをする生徒
=2日、豊田市大内町の太田川で

率した保育士の兼貞綾乃(あやの)さん(27)は「高校生が来てくれて触れ合いながら水遊びができてよかった」と話した。担当の岩田知也(ちよし)教諭は「日ごろは小さい子と接する機会の少ない生徒らにいい経験になった。今後の高校生活に役立ててほしい」と話した。【岡田さち代】